

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：労働費 項：労政費 目：雇用促進費

事業名 新就職氷河期世代 IT 資格取得支援事業

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 労働雇用課 就職氷河期世代支援係 電話番号：058-272-1111(内 3123)

E-mail：c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 15,049 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	15,049	11,269	0	0	0	0	0	0	3,780
決定額	10,975	8,205	0	0	0	0	0	0	2,770

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

いわゆる就職氷河期世代は、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代であり、現在も、不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業の状態にあるなど、様々な課題に直面している者がいる。

現在、国を挙げて「就職氷河期世代支援プログラム」に基づき、3年間の取組により、現状よりも良い処遇、そもそも働くことや社会参加を促す中で、同世代の正規雇用者については、30万人増やすことを目指すとされた。

(2) 事業内容

就職氷河期世代の正社員就職を促進するため、IT 資格の取得へ向けたオンライン講座 (e-ラーニングとライブ配信授業の組み合わせ) を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫負担 3 / 4 (地域就職氷河期世代支援加速化交付金充当予定)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	プロポーザル評価委員謝金
旅費	22	プロポーザル評価委員旅費
会議費	1	
役務費	12	
委託料	14,982	オンライン講座費用、就職支援費用、HP作成運用費
合計	15,049	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

国

- ・就職氷河期世代支援プログラム（3年間の集中支援プログラム）
- ・就職氷河期世代支援に関する行動計画 2020

(2) 国・他県の状況

- ・国「就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業」
短期間（1～3 カ月程度）で取得でき、安定就労につながる資格等の習得を支援するため、業界団体等に委託し、訓練と職場体験等を組み合わせて、正社員就職を支援する出口一体型の訓練を実施。e-ラーニングコースあり。
- ・奈良県「就職氷河期世代支援推進事業」
就職活動の際に武器となる実践的なスキルを習得するため、オンラインによる資格取得研修を実施。

(3) 後年度の財政負担

就職氷河期世代支援プログラムの取組期間を踏まえ検討

(4) 事業主体及びその妥当性

就職氷河期世代の正社員化を促進するために、県として実施することは妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 就職氷河期世代を含めたすべての世代が希望に応じて就労・活躍できる環境を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
						%
① 資格取得講座受講者数	/	/	/	30 人	30 人	%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
令和 3 年度	令和 5 年度当初予算にて追加
令和 4 年度	令和 6 年度当初予算にて追加

令和 3 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和 4 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 就職氷河期世代で長期にわたり希望外の就業や無業の状態にある方が直面する、就職、職業的自立の実現に向けた困難さ、複合的な課題を踏まえた対応が必要。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 就職氷河期世代の方のニーズを踏まえた支援を実施する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	